太りにくく、体が喜ぶ！正しい間食の選び方を学ぶ

監修：管理栄養士・食育インストラクター　佐藤 ゆうこ（Yuko Sato）

チョコレートにナッツを添えて、おしゃれなカフェタイムを楽しむ女性。ヘルシーな間食の代表例

ダイエット中だからといって、甘いものを我慢しすぎるのはストレスになり、かえって食べすぎてしまう原因にもなります。大切なのは、「何を、いつ、どれくらい食べるか」を知ることです。

この記事では、管理栄養士の視点から、太りにくい間食の選び方や、ヘルシーなおやつの具体例、食べるタイミングのコツまでをわかりやすくご紹介します。

足りない栄養を補う それが、間食の本来の役割

現代人は、1日3回の食事だけでは栄養が不足傾向（厚生労働省）にあると言われます。特に不足しがちなのが、ビタミン、ミネラル、食物繊維などの「体の調子を整える栄養素」。この栄養素は、1回の食事だけで必要量を満たすのは難しく、間食を賢く使うことで不足分をカバーできます。

笑顔の女性がスマホを見ながら「栄養素不足解消＆健康維持」と書かれたポスターの前を通過する。「特定の1日だけ頑張る」ではなく、「毎日の積み重ね」が大切だというメッセージを表現

「たとえば、野菜ジュース、ヨーグルト、バナナのみの1日は、たんぱく質が足りないのでエネルギーが燃えにくい体になったり、鉄分不足で貧血気味になったりすることも。

そうならないためにも、間食は「プラスアルファ」ではなく、1日の栄養バランスを整えるための“必要なピース”と考えましょう。

食べ方ひとつで、太りやすい体質を自ら作る間食とは？

ポテトチップスやスナック菓子を食べながら、スマホを見つめる女性。「間食ポテチプロスト」と書かれた看板が背景に。間食の選び方を注意喚起するイメージ

「間食＝悪いもの」と思っていませんか？実は、食べ方ひとつで太りやすくなってしまうことがあります。

ここでは、間食ポテチプロストと、その対策について解説します。

間食ポテチプロスト

- ポテトチップスなどの脂質と糖質の組み合わせ
- 食べるスピードが速い
- 1袋を一気に食べてしまう
- 食後に強い眠気や倦怠感が出る

間食ポテチプロスト対策

- 1袋を一気に食べてしまう
- 食後に強い眠気や倦怠感が出る
- 食後に軽い運動をする
- 食後に水を飲む

管理栄養士さんお墨付き！罪悪感なしのおすすめ間食

あのヘルシー食材が大変身！簡単スイーツレシピをご紹介

なんちゃって特茶ブレンドティー

無理なく楽しく！間食を自分の味方にしよう

「ダイエット」と言うと、我慢の連続というイメージを持ちがちですが、この3つを守るだけでOK！

- 1日の間食は200kcalまで
- 食べるタイミングは夕食の3時間前まで
- 甘いものを食べるときは、ヘルシー食材を選ぶ

監修：管理栄養士・食育インストラクター　佐藤 ゆうこ（Yuko Sato）
大学卒業後、病院で約5年間、糖尿病や肥満症の患者さんの栄養指導に携わる。現在は、フリーランスの管理栄養士として、企業のレシピ開発や、SNSでの健康情報の発信を行っている。
Web：https://ihyoen-eiyou.com/